様式２

令和６年度 （綾瀬西高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○　課題・目標別実施結果

課　　題	目　　標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	勤務時間の内外を問わず、法令をはじめ社会規範やルールを守り、信用を傷つけ、教員全体の不名誉となるような行為を決して行わない。	○不祥事防止会議が策定した不祥事防止職員研修を計画的に実施し、職員の法令遵守意識を向上させた。 ○校長による個人面談を複数回実施し、業務に関することはもとより、職員の生活全般についても聞き取りを行い、職員の負担感の軽減に努めた。 ○副校長、教頭による声掛けを行い、風通しの良い職場の雰囲気を醸成した。
職場のハラスメントの防止	職員がその能力を十分に発揮し、いきいきと働くために、職員同士が互いにしっかりとコミュニケーションをとり、円滑な人間関係を築くことにより、職場におけるハラスメント行為ゼロを目標とする。	○適切なコミュニケーションについて、日ごろから職員間で注意し合い、ハラスメントのない良好な職場環境を構築した。 ○職員研修を実施し、職場で求められるコミュニケーションのあり方について認識を深めた。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	教員としての自覚と、生徒との適切な距離感を持った指導や対応に徹し、立場を利用した不適切な行為、生徒を傷つけるような性的言動等は絶対に行わない。	○生徒指導、支援は、複数教員で対応することを徹底した。また、複数対応ができない場合は、他の教員の目が届く場所で対応した。 ○生徒とのSNSでのやり取りについて具体的な場面を想定したハラスメント防止職員研修を実施した。 ○管理職によるハラスメント防止の個別職員研修を実施した。
体罰・不適切な指導の防止	適切な生徒理解のもと組織的な指導を徹底することによって、生徒に対する体罰、不適切な指導、行き過ぎた指導、暴言等を絶対に行わない。	○日ごろから生徒の状態把握を丁寧に行い、気になる生徒の情報を職員間で共有するとともに、管理職への報告を即時に行った。困難を抱える場面においても組織的な粘り強い指導、支援を行った。 ○生徒理解に基づく適切な指導、支援を行った。 ○保護者とのコミュニケーションを密にし、家庭と学校が連携して課題の解決に努めた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理及び通知表や調査書等の書類の作成、入学者選抜に係る事故を防止する。	○入学者選抜マニュアルの精度を高め、業務手順や複数チェック体制などを随時確認し、業務を遂行した。 ○成績処理に関する手順を明確に定め、複数で点検を行い、転記・入力ミスを防止した。 ○推薦入試に係る書類作成は、必ず複数で行った。また、推薦にありの基準・資格を満たしているかについて複数でのチェックを実施した。

個人情報の管理及び情報セキュリティ対策	個人情報の漏えい等のリスクは、常に身近にあることを意識して、ルールに従い適切に管理し、紛失、漏えい防止に取り組む。	○個人情報を校外に持ち出すことを原則禁止とした。やむを得ず持ち出す場合は、「個人情報等持ち出し許可願」により必ず管理職の許可を得ることを徹底した。 ○試験期間中のシュレッダー使用を禁止し、答案の滅失を防止した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規の遵守に努めるとともに、安全運転を行い、交通違反や交通事故を防止する。とりわけ、飲酒運転や酒気帯び運転は絶対にしない。	○飲酒した翌日に運転の予定がある場合は、飲酒量に注意するよう、飲酒運転に関する注意喚起をした。 ○自動車を運転するときは、時間と心にゆとりをもって、安全運転を心がけるよう、また、体調不良時には運転を控えるよう注意喚起をした。
業務執行体制の確保等	職員は情報共有に努め、業務協力体制と相互チェック体制を構築し、円滑な業務執行体制を整える。	○業務の遂行にあたっては、グループリーダーや学年リーダーが進行管理をし、円滑に進む業務体制を構築した。また、特定の職員に負担がかからないようリーダーが業務分担を管理した。
財務事務等の適正執行	私費会計は、公費会計に準じて適正に処理する。	○私費会計の各担当者が手引を活用し、一層の適正化に向けた取組をした。 ○私費会計に係る監査を適正に実施した。また、改善点や方法を検討し、迅速に対応した。

○　令和６年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和７年度に取り組むべき課題（学校長意見）

不祥事防止会議が策定した不祥事防止職員研修を計画的に実施し、教育公務員としての使命感を持った職員による適正な学校運営がなされた。特に、課題を抱えた生徒への対応に関して、情報共有とチーム対応を徹底し、課題解決につなげることができた。

令和7年度は、「法令遵守意識の向上」「入学者選抜」「私費会計」に係る不祥事防止を重点課題として、具体的な改善策を策定し、不祥事防止に取り組む。